

# 新潟県認知症ケア・アドバイザー派遣事業 Q&A

令和8年5月

Q1 派遣されるアドバイザーとはどのような人ですか。

認知症介護研究・研修大府センターが主催する認知症ケアマッピング（以下「DCM」と表記。）に関する研修を修了した認知症介護指導者です。

Q2 DCMはどのような目的で行うものですか。

事業所における介護が適正かどうかを評価し、指導するといった性格のものではありません。

認知症のご利用者本人にとって、より良い介護を提供するためにはどうしたらよいかを考え、事業所における認知症介護の質の向上につなげる取組の一環としてご活用いただくツールです。

Q3 申請後、事前に準備しておくことはありますか。

あらかじめ2名の認知症のご利用者をDCMの対象者として選んでください。どのようなご利用者とするか迷う場合は、アドバイザーにご相談ください。

なお、DCMでは2名の対象者を同時に観察するため、同一の共有スペースで過ごす2名を選定してください。

Q4 ブリーフィングとは何ですか。

DCMを受ける前に、事業所の職員の方を対象として行う事前説明会です。パーソン・センタード・ケアの基本やDCMの目的や方法、効果等について、1時間半～2時間程度説明します。

事業所の職員がパーソン・センタード・ケアやDCMについて理解した上で実施した方が効果的なため、原則としてブリーフィングは必須とします。

実施の際は、できるだけ多くの職員が参加できる日程・時間を調整してください。

なお、基本的にアドバイザーが事業所へ訪問しブリーフィングを実施しますが、オンライン（Zoom等）で実施する場合があります。



Q5 DCM当日のスケジュールについて教えてください。

本事業では、原則としてフルマッピング(2日間コース)にてDCMを行います。おおまかな流れは以下のとおりです。

① ブリーフィング(事前説明)

所要時間(目安)	内容
約1.5~2時間	・DCMの目的、留意点、方法等の説明

② 1日目(DCM実施)

所要時間(目安)	内容
約1時間	・オリエンテーション(参加者についての情報共有)
6時間	・マッピング実施(マッパー休憩時間含む)

③ 2日目(フィードバック準備、実施)

所要時間(目安)	内容
1.5時間	・フィードバック
0.5時間	・振り返り

2~3か月後を目安として②~③を同一の対象者の方に対して再度実施し、立案したアクションプランを実践したことによる対象者の変化等を検証すると共に、フィードバック及び振り返りにより、その後の取組等について検討します。

Q6 事業所の負担はありますか。

DCM当日のアドバイザーからのフィードバックの際に、資料を印刷する必要がありますので、プリンターと用紙をご提供ください。また、アドバイザーがフィードバック準備のためにパソコンで資料作成作業を行うため、事業所の業務の支障とならないスペースをご準備ください。

なお、アドバイザーの謝金と旅費については県で負担しますが、資料の印刷費用等、その他の諸経費については、事業所でご負担いただきます。

Q7 今回以降、追加で募集する予定はありますか。

募集期間に、募集定数に満たなかった場合は追加募集を行う場合があります。